

科目名： 社会福祉	担当教員名： 齋藤 慶吾	使用テキスト：出版社名・テキスト名 『改訂1版 保育士養成講座第4巻 社会福祉』 全国社会福祉協議会
授業の到達目標及びテーマ： 1. 本科目により児童・母子・障がい者・高齢者等に関する公的な支援を行う社会福祉制度を理解する。 2. 支援を要する社会的弱者がその能力に応じて自立した日常生活を営むことができる支援を認識する。 3. 社会福祉は救貧・防貧の機能も果たしていることから、対象者別に社会福祉についてみていく。		
授業の概要： 講義を中心としながら、双方向の意思疎通による参加型授業を行う。 またテーマによってはグループワークを取り入れる。		
回	項 目	内 容
1	オリエンテーション 「序章 保育における社会福祉」	○社会福祉のとらえ方と認識 ①日本の人口動向（人口動向からみた日本社会の将来）
2	「序章 保育における社会福祉」	②人々の生活と社会福祉（国次元、国民生活一般、子育ての課題） ③保育者と社会福祉（社会福祉を学ぶ姿勢）
3	I 「社会福祉のとらえ方とその意義」	①社会福祉の概念と理念 （社会生活上のニーズ、社会福祉の構成要素・考え方）
4	I 「社会福祉のとらえ方とその意義」	②社会福祉の歩み（源流、思想からみた展開、歩み、欧米） ③社会福祉と子ども家庭福祉（特性、権利保障と仕組み、家庭支援）
5	II 「社会福祉の制度と実施体系」	①社会福祉の制度と法体系（社会福祉における制度と法律の関係）
6	II 「社会福祉の制度と実施体系」	②社会福祉行財政と実施機関（行政機関、実施期間、財政）
7	II 「社会福祉の制度と実施体系」	③社会福祉の施設と運営（社会福祉施設の利用・運営・財政等）
8	II 「社会福祉の制度と実施体系」	④社会福祉の専門職（専門資格の種類、主な専門職）
9	II 「社会福祉の制度と実施体系」	⑤社会保障および関連制度（社会保障の意味・体系、民間保険制度）
10	III 「社会福祉における相談援助」	①相談援助の理論（定義、視点、原理、保育との関連） ②相談援助の機能（ソーシャルワークの枠組みと役割、地域基盤の機能）
11	III 「社会福祉における相談援助」	③相談援助の対象と方法（対象、方法、技術） ④相談援助の展開過程（重要性とポイント）
12	III 「社会福祉における相談援助」	⑤相談援助の具体例（ひとり親家庭の支援、地域の子育て家庭への支援）
13	IV 「利用者の権利擁護と福祉サービスの質の保証」	①福祉サービスの利用促進（利用援助事業と支援事業） ②利用者の権利擁護（後見制度、日常生活自立支援事業、苦情解決制度） ③福祉サービスの質の保証（責務、情報公開、第三者評価）
14	V 「今後の課題」	①少子高齢化社会への対応②包括社会の実現 ③在宅福祉・地域福祉の推進④諸外国の状況
15	まとめ	振り返りと自己評価

参考書・参考資料等：

参考書はその都度指示。必要資料があった場合は、随時配付。

学生に対する評価方法：

受講態度及び出欠状況②ノートのまとめ方③テスト成績とし、それぞれの配分は、2：3：5とする。